

1. 意見

別紙

1. 意見

天塩川流域に生活している一人として、昨今の異常気象が要因となって水害が起きていくことを実感しています。昨年10月の暴風雨時には国道の一部が冠水し、道々においては全面冠水のため通行止めになるなど、人命に対して影響はありませんでしたが、一歩間違うと大変な被害が起きる状態になっています。また、夏には河川の水が濁り、農業者達の生活をも苦しめていたりしています。安全な生活を送るためにも天塩川河川整備計画を早期に進めていくことが大事です。その中でもサンダルダム計画は絶対に必要な計画だと思います。ごく一部の、それも流域には生活していない無責任な反対意見を述べる人たち（自然環境保護を唱えながら魚釣りを趣味にしている人たち）がマスコミ等を利用して自然保護を唱えています。流域住民の安全や生活を犠牲にしてはいないのでしょうか？ 人の命や生活よりも魚の方が大事でしょうか？ もっと流域住民のことを考えていただきたいと思えます。

また、士別地方においては、岩尾内ダムが完成してからは洪水被害が軽減されたのと、何よりも農業者たちに十分な量の水を供給することができ、安定した営農生活をおくることができましたと聞くことを聞いています。

私たちは15年ほど前から天塩川にニジマス等の稚魚を放流したり、山や川に木を植えたりして、生活の基盤を守ろうとしてきました。今後も自然とつよに共生して行かなければなりません。上流域から下流域までの安全な生活を守るためにも、この計画の中にもあるように空間利用や人と川のふれあいを地域住民との自然環境に配慮したグラウンドデザインを考えながらサンダルダム計画を早期に実施することを望みます。